

⑦ 持続可能な農業

プロジェクト 環境負荷低減による持続可能な農業の実践拡大

目 標

- ・環境にやさしい農業の取組面積 <特別栽培>R3：499ha → R8：700ha
<有機農業>R3：538ha → R8：900ha

挑戦する内容

- ・土壌診断のデジタル化と堆肥の活用促進
- ・プラットフォームを核とした環境にやさしい農業の拡大

関係者の声
=対話

- ・堆肥の利用率を向上させるためには、県内で生産される堆肥の均質化・高品質化が重要であり、このレベルアップに向けた取組が必要（関係団体）
- ・将来は環境にやさしい農業が主流になると思うので、今から準備が必要（生産者）
- ・環境にやさしい農業に対する消費者の理解が進んでいない。価格に結び付くよう消費者へのPRを強化してほしい（生産者）

役割分担

- ・生産者：実践展示ほ等の管理
- ・農協：土壌診断データの提供、研修会の開催等
- ・市町村：研修会等への参加、生産者への情報提供等
- ・県：実践展示ほ等の設置、研修会の開催等

変革後の姿

- ・有効なデータの活用により効果的な生産性向上が実現
- ・消費需要に応えられる安全・安心で良質な農産物の安定供給

令和7年度計画

挑戦する内容

- 1 土壌診断のデジタル化と堆肥の活用促進
 - ・デジタル技術を活用した土壌診断情報の提供と「施肥なび」の機能拡充
 - ・総合診断実践展示ほの設置
 - ・県産堆肥の品質検査、技術的サポートの実施
- 2 プラットフォームを核とした環境にやさしい農業の拡大
 - ・環境負荷低減活動強化のための支援（みどり認定制度の周知と認定業務、事業活用）
 - ・有機農業実践者の育成・確保のための伴走支援と実践者向け技術研修会、有機農業指導員養成研修会の開催
 - ・プラットフォーム登録者（実践者・エコ農産物販売協力店）による商談会の開催とエコ農産物活用に向けた賛同企業・消費者への求評等の実施



土づくり指導力向上研修会の開催

エコ農業技術研修会
・消費者交流会の開催

対話

- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（7月、1月）
- ・技術研修会や交流会の開催の際に、生産者や関係者との意見交換を実施（5月～1月）